



◆ 講師

山本 龍生先生

神奈川歯科大学歯学部
社会歯科学系社会歯科学講座口腔衛生学分野

- 1989年 岡山大学歯学部卒業
- 1993年 岡山大学大学院歯学研究科修了
- 1993年 岡山大学歯学部予防歯科学講座助手
- 1994年 米国テキサス大学生物医学研究所客員研究員
- 1997年 岡山大学歯学部附属病院予防歯科講師
- 2003年 世界保健機関インターン
- 2009年 神奈川歯科大学社会歯科学講座講師
- 2010年 神奈川歯科大学社会歯科学講座准教授
- 2015年 神奈川歯科大学大学院歯学研究科口腔科学講座(社会歯科学分野)教授
- 2023年 神奈川歯科大学副学長、神奈川歯科大学大学院歯学研究科長、
神奈川歯科大学歯学部社会歯科学系社会歯科学講座口腔衛生学分野教授(現在に至る)

◆ 講師からの一言

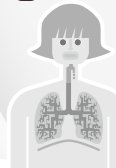
日本は世界有数の長寿国となりましたが、要介護状態の予防が重要な課題となっています。高齢者の追跡調査により、歯の本数が多いほど要介護状態や認知症になるリスクが低く、自分の歯を保つことが健康寿命の延伸に寄与する可能性が示されています。また、食事を楽しむためには、少なくとも20本の歯が必要とされています。しかし、後期高齢者の平均歯数はこれを下回っており、「人生100年時代」に向けて歯の喪失防止を一層強化する必要があります。歯の喪失原因の8割以上はむし歯と歯周病であり、これらは予防が可能です。むし歯予防にはフッ化物の利用が有効で、フッ化物配合歯磨剤の普及によりむし歯予防が進展しています。一方、歯周病予防には歯間清掃や定期的な歯科受診が重要ですが、特に定期歯科受診の実施率が低いことから、歯周病対策は依然として歯科保健における課題となっています。さらに、糖尿病患者は歯周病の有病率が高く、歯周病と糖尿病には双方向の関係があることが知られています。このため、関係者が医科歯科連携の重要性を認識し、歯周病リスクを評価する簡易検査キットなどを活用することで、医科歯科連携のさらなる推進が期待されます。

医科歯科
合同研究会

口腔と全身との関係

日医生涯教育制度認定講座 申請中(12.15単位)

医科歯科連携の推進のために



日時 2025年 1月15日(水) 19:30~21:00

場所 オンライン(Zoom)講演会
(会場設営はありません)*参加対象 / 医師、歯科医師、コメディカル **参加費無料** <https://x.gd/20250115>

〈参加申し込み登録〉



右のQRコードまたは短縮URLからお申し込みください。佐賀県保険医協会のホームページからもお申し込みできます。

注意事項

参加登録後にZoomから確認メールが届きます。届かない場合は登録できていない可能性があります。事務局までお問い合わせください。

佐賀県保険医協会

☎ (0952)29-1933 FAX 23-5218
E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jpLINE公式アカウント
友達募集中!